

2019年度 JATEセミナー開催模様

2019年12月3日(火曜日)、主婦会館プラザエフ(千代田区)において、賛助会員の皆様を対象に、本年度のJATEセミナーを開催致しました。近年、いわゆるIoTに関わるダイナミックな動きは益々加速し、本格導入を見据えた動きも活発化しています。加えて、セキュリティに代表される解決すべき諸々の課題も顕在化しているところです。そのような状況のもと、通信行政政策当局及びセキュリティ分野から専門家をお招きし、ご講演を頂きました。

総務省 総合通信基盤局 電気通信技術システム課長 中村裕治様によるご講演「IoTに対応した通信ネットワーク技術に関する政策動向」では、IoTの普及に対応した電気通信設備に係る技術的条件の検討、電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証の概要、災害に強いネットワークインフラの実現に向けた取り組み等についてご紹介いただき、仮想化技術に代表される通信ネットワークにおけるソフトウェアの重要性、電気通信市場のグローバル化の進展、災害時における通信の確保/復旧等の観点でご説明を賜りました。



総務省 総合通信基盤局
電気通信技術システム課長 中村裕治様

ご講演後に実施した参加者の皆様からのアンケートでは、

- ・非常に網羅的に最近の電気通信事業分野の主要な政策課題・動向をまとめて説明頂き大変勉強になった。
- ・最新の政策動向を確認することができ今後のビジネス検討に活かせる為、非常に参考になった。
- ・これまでのインフラの認識を完全に変えなければならないことを教えてもらった。
- ・海外事業者への規制も法改正のスコープに含めている時代の流れを感じた。
- ・電気通信事業分野の大きな転換期になってきていることがよくわかった。
- ・台風における災害対応も参考になった。
- ・省令や告示制定までの流れの概要がよくわかった。
- ・競争ルール等の包括的検証の概要が大変参考になった。

等、多くのご意見が寄せられております。

続いて

重要生活機器連携セキュリティ協議会（CCDS）代表理事 / 情報セキュリティ大学院大学 客員教授 荻野司様によるご講演「海外におけるIoT機器への認証スキームと日本の現状 ～CCDS版サーティフィケーションプログラムを題材にして～」では、国内外におけるIoTセキュリティへのガイドライン/法規制の現況や差異と今後の方向感について、並びにCCDS様をご提供されるサーティフィケーションプログラムの内容や海外要件との差分等について、ご紹介頂きました。



CCDS 代表理事/情報セキュリティ大学院大学
客員教授 荻野 司 様

ご講演後に実施した皆様からのアンケートでは、

- ・IoT時代のセキュリティ確保について各国の動向を含めた話を伺うことができ大変参考になった。
- ・グローバル化が進む中で各国のセキュリティポリシーの違いに対応する難しさについて認識を持てた。
- ・IoT機器のセキュリティ対策規定の世界的動向、特に日本に比べて海外の方が厳しい現状を認識でき有益だった。
- ・デバイス開発におけるセキュリティ機能の実装を検討する際に参考となる情報を聞いた。
- ・国内外の動向をまとめて整理されて説明を頂けて判りやすかった。
- ・IoT機器の脆弱性対策の重要性がわかった。
- ・セキュリティの現状と問題点について理解できた。
- ・アタック演習の説明は初めて聞くので大変参考になった。
- ・保険の話が大変参考になった。

等、多くのご意見・ご感想をいただきました。

それぞれ1時間ずつのお二方のご講演は、とても濃い内容をテンポ良く且つわかりやすくお話していただき、参加者の皆様も終始集中してじっくり聞き入っていらっしやっただことが印象的でした。

当協会では、賛助会員の皆様から頂いたご感想・ご意見を参考にさせていただき、今後のセミナー開催に反映させてまいります所存です。なお、賛助会員の皆様には、賛助会員専用ページにて講演資料をご覧いただけます。